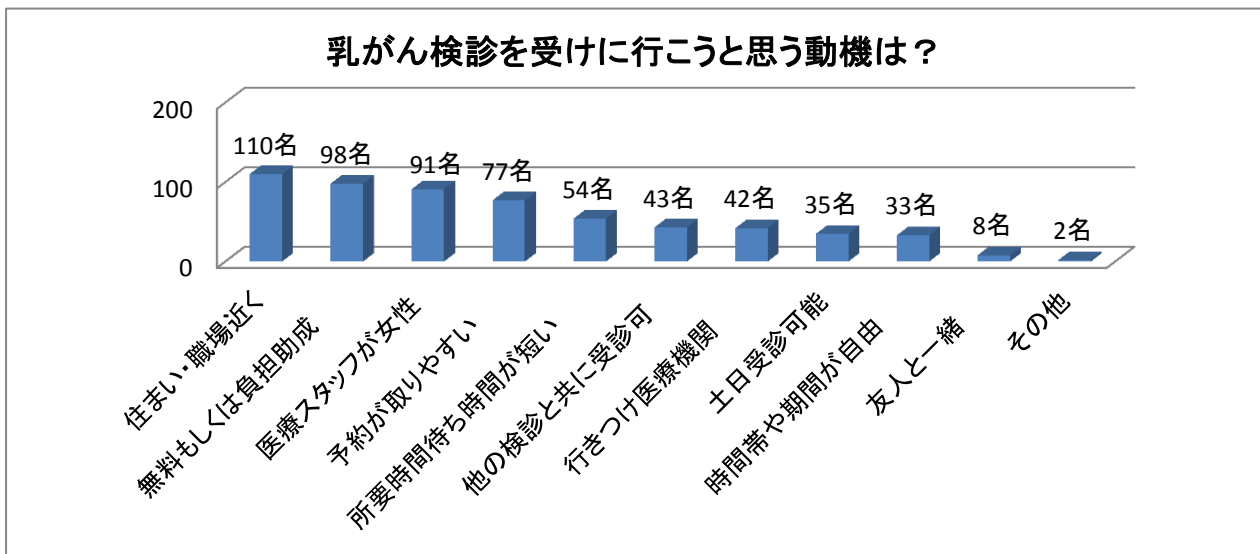
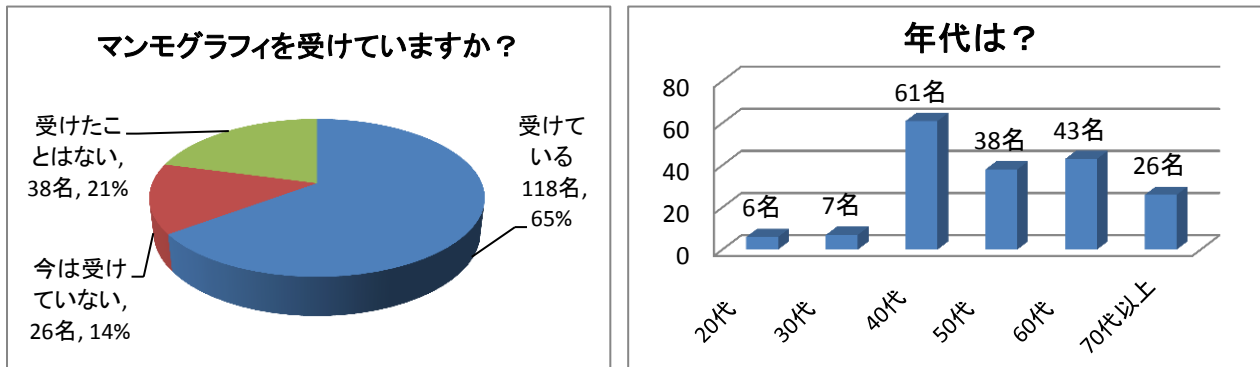


■「受けてみよう、乳がん検診」事前アンケート結果(公益財団法人藤沢市保健医療財団)

H25/9/17～10/31 藤沢市保健医療センター及び 市内公民館まつりにて 実施



○知りたいこと、聞きたいことはありますか？(沢山ご質問頂いた中で主な質問に対する返答を掲載しています)

【問1】 40代ですがマンモグラフィ検診は2年に1度受診すればいいのでしょうか？

【回答】対策型検診において厚生労働省の指針で科学的根拠のあるのは40代以上の2年に1度のマンモグラフィ併用検診となります。リスクの高い方は個別に医療機関で相談すると良いでしょう。

【問2】 マンモグラフィは痛いのでエコーの方がいいのになぜマンモグラフィで検診するのでしょうか？

【回答】対策型検診にて検診を行う事により乳がん死を低減できるという科学的根拠があるのが今のところマンモグラフィ検診だけだからです。任意型検診は自由に検査を選べるのでエコー検診も行えます。

【問3】 マンモグラフィ検診は何歳まで受けたらいいのでしょうか？

【回答】検診を行う目的は、乳がんを早期発見し治療することにあります。がんが見つかったとき治療を行うお気持ちがあれば検診を受けることをお勧めします。

【問4】 マンモグラフィを撮影するとき痛みを少なくするために出来ることはありますか？

【回答】生理直前などの乳房の張った時期は避ける、力を抜いてリラックスして受けるなどがあります。現在では機器の角を丸くしたり乳房に圧力が均等にかかるようにしたり痛み軽減の工夫も行われています。

【問5】 乳がんは子供を産んでない人に多い、独身の方に多いと聞きますが本当ですか？

【回答】授乳するとリスクが低減と言われています。また、肥満(特に閉経後)や家族に乳がんの人がいる場合乳がんになりやすい遺伝子を持っていることがあります。ただ、もちろんリスクの話なので産んでいないから独身だからといって必ず乳がんになると言うことではありません。

【問6】 検診で石灰化があると聞かれましたが放っておいていいのでしょうか？

【回答】石灰化には良性石灰化と不整石灰化(がんから生じた可能性のある石灰化)があります。良性石灰化は多数の人に見られ、特に問題はありません。検診にて不整石灰化もしくはまだ良悪の判定が出来ないようなパターンの石灰化があった場合は「要精密検査」になります。その時は必ず精密検査を受診して下さい。早期発見早期治療が大切です。

☆乳がんトークイベントを行うにあたり、いろいろなご意見ご質問を頂きありがとうございました。より多くの方が安心して検診を受けることが出来るよう参考にさせていただきます。